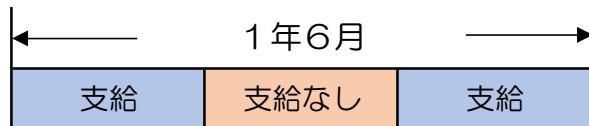


令和4年1月からの法改正について

1. 傷病手当金の支給期間の通算化（「期限」から「日数管理」へ）

現 行 支給を始めた日から起算して1年6月を超えないものとする



改正後 支給を始めた日から通算して1年6月とする



支給がなかった期間の分、支給満了分が後ろ倒しとなるイメージ

※令和2年7月2日以降に支給開始した傷病手当金受給者対象となります。

2. 任意継続制度の見直し

任意継続被保険者からの申請による資格喪失を可能とする。

現 行 資格喪失事由

- ・ 任意継続被保険者となった日から起算して2年を経過したとき
- ・ 死亡したとき
- ・ 保険料を納付期限までに納付しなかったとき
- ・ 就職・船員保険又は後期高齢者の被保険者に加入したとき

改正後 現行の資格喪失事由に下記を追加

- ・ 任意継続被保険者でなくなることを希望する旨を、厚生労働省で定めるところにより保険者に申し出た場合において、その申出が受理された日の属する月の末日が到来したとき

例1) 令和4年3月17日申出→令和4年4月1日喪失

例2) 令和4年3月4日任意脱退の意向（3月分保険料未納）



令和4年3月11日資格喪失（納付期限10日のため翌日喪失）

※ 保険料を前納した方についても任意脱退は可能であり、前納に係る期間の経過前の資格喪失であれば、未経過期間に係る前納保険料は返還となる。